

生理検査室・臨床検査室の移転を終えて

臨床検査室 副技師長 千葉 学



病理検査、血液検査、一般検査は新棟完成時に5棟2階・3階に移転し、半年が過ぎた現在、スムーズな運用ができています。そしてこの度、N棟改築に伴い、細菌検査を含む検体検査と心エコーを含む生理検査がN棟2階に移転いたしました。

検体検査におきましては、細菌検査室に作業従事者の感染対策とバイオハザード対策のために安全キャビネットを1台増やして2台となり、作業効率を上げることができました。また、生化学検査においても移設時に大型分析器の更新を行い、大量検体処理に対応できるよ

うになりました。

生理検査におきましては、以前は検査項目によりN棟2階と永頼会館3階、心エコーは新棟2階と3ヶ所に分かれており、移動にご不便をおかけしていました。この度の移設に伴い、全ての項目〔心電図・脳波・呼吸機能・運動負荷検査(トレッドミル・CPX)・ABI・聴力・眼振・ホルター心電図(24時間の心電図記録)・心エコー(血管エコー)等〕がN棟2階の生理検査室1カ所で行えるようになり、患者さんの移動を少なくすることができました。

これからも医療環境の変化に柔軟に対応しながら、検査結果をより迅速・正確に臨床に戻し、患者さんの診断、治療に反映できるよう努めてまいります。



生化学分析器 (日立)



心エコー (PHILIPS)

心に優しく先進的な手術室の環境づくり

手術部・中央材料室・特殊検査室 師長 井上 より子



新病棟建設に伴い手術室は南棟3階に7室が新築されました。全室が鏡視下手術に対応できるように、天吊り式3面モニターを標準装備し、術中透視に対する放射線シールドも施されており、汎用性とスペースマネジメント性が向上しました。3室は清浄度が特に高いクラス100(米国209E基準)のバイオクリーンルームです。全室、旧手術室よりも格段に広くなり、その結果、ヒューマンエラーや感染の防止に寄与しています。最も広い部屋は、将来的に大型の医療機器が導入できるように90㎡が確保されています。

IT面では、院内の電子カルテと連動した手術部門生体情報システムが導入され、術中の情報表示や手術室の効率的なスケジューリングが可能になりました。また、臨床工学技士による機器整備の徹底、物流システムを用いた物品・在庫管理により、円滑な手術室運営が行われるようになりました。

従来のイメージを一新した前室ホールは、スタンドグラス調の扉窓と壁面に松山城の写真を設けたことで、患者さんの緊張を和らげる癒しの空間になっています。

手術室看護師は、患者さんやご家族

が少しでも安心して手術を受けられるよう

に、手術前訪問に伺っています。そして、日頃より医師・メディカルスタッフ等の関連部門と連携を密にして患者さんの安全性の向上と質の高いチーム医療を目指しています。

今後も、安心・安全な手術医療の提供を目指し、思いやりと向上心をもった人材・組織運営に邁進し、患者さんにもスタッフの心にも優しい先進的な環境づくりに取り組んでまいります。



広くなった手術室



鏡視下手術 (呼吸器外科)



手術室スタッフ